

2020年度 事業報告書

特定非営利活動法人ふるすあるは

1 事業の成果

定款上の事業名

(1) 情報サイトの運営事業

「子ども情報ステーション—精神障がいをかかえた親とその子どもの応援サイト—」を運営し、1年間に、1,053,011人のユニークユーザーからサイト訪問、延約201万のページ閲覧があった。読者アンケートを実施、56件の回答があり、サイトの改良につなげた。

(2) 心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業

啓発チラシ「親が精神疾患になったときの子どもと親のケアガイド」を、約7,000枚発行し、イベントでの設置や、活動に賛同するキッズパワーサポーターの協力による配布を行った。キッズパワーサポーター登録者数は、1,400名をこえ、第5期に新設したメルマガ会員も、880名をこえた。新作、精神障がいなどをかかえた親の子育て支援本『ゆるっとこそだて応援ブック』を作成し、オンラインストアでの販売、クラウドファンディングや助成金を使った寄贈等で、合計約2000冊を普及した。さらに、イベントでの出展、オンラインストアでの販売、助成金や寄付での寄贈、などを通して、心理教育絵本〈家族のこころの病気を子どもに伝える絵本・子どもの気持ちを知る絵本：約750冊、『生きる冒険地図』：約850冊、『ボクは話せない』：約120冊〉を新たに普及した。

(3) セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業

子どもの気持ちを表現した絵と活動の展示では、2回の開催で、延およそ3,000名の方が来場し、法人のメッセージを届けることができた。計16回のセミナー講師や情報提供の機会を担当し、精神障がいの親と子どもの支援ならびに、精神保健に関する普及啓発活動を行った。

(4) 目的を同じくする他団体等との情報交換や他団体と連携した協働事業

精神障がいを抱える親と子どもの支援に取り組む全国の関連団体に関する情報を随時アップデートし、運営する情報サイト内で提示した。親が精神障害の子どものケアのための絵本のリストを作成公開した。連携して精神障がいの親と子どもの支援に取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
情報サイトの運営事業	情報サイトの運営	通年	事務所、オンライン	7名	精神障がい の親とその 子ども、支 援者	約100万 人	693千円
心理教育絵本、テキスト等による普及啓発事業	チラシ配布による啓発	通年	事務所	3名	同上	約7000人	7,643千円
	イベント出展・オンラインでの絵本販売	通年	埼玉、オンライン等	10名	同上	約1700人	
	絵本献本	通年	熊本、北海道他、全国	7名	同上	約2000人	
	精神保健啓発ツール制作	通年	事務所、さいたま市	3名	同上	約3000人	
	普及啓発イベント開催	1月、8月	さいたま市	15名	イベント鑑賞者	約3000人	
セミナー等による課題の認知拡大、社会への普及啓発事業	セミナー講師	通年	東京、埼玉、オンライン等	3名	セミナー参加者	約1100人	425千円
他団体と連携した協働事業	研究協力、情報発信	通年	事務所	5名	精神障がい の親とその 子ども、支 援者	約600人	-